

「女性の活躍促進による経済活性化」

行動計画

～働く「なでしこ」大作戦～

平成24年6月22日

女性の活躍による経済活性化を推進する

関係閣僚会議

【具体的施策】

1. 男性の意識改革（社会全体の意識改革を含む）

企業トップを始め、男性の意識改革、ひいては社会全体の意識改革を強力に推進することにより、経済社会での女性の活躍を推進する。

○女性の活躍促進の「見える化」総合プランの策定・推進

消費者、就職希望者、市場関係者に対し、企業の女性の活躍状況の可視化を促進する取組を「見える化」総合プランとして2012年末までに策定【厚生労働省（取りまとめ）、経済産業省、文部科学省、内閣府、金融庁】

- ・以下の方向で行政のウェブサイトを活用した経営トップの方針、企業の女性活躍の状況や向上のための取組について、企業の情報開示を促進する【厚生労働省（取りまとめ）、文部科学省、経済産業省、内閣府、他関係省庁に協力を要請】

- －企業の情報開示を強力に推進する（約5,000社を目標）
- －開示情報の一覧性や業種ごとの比較を容易とする仕組みを作る
- －「女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦」（後掲）で、企業にとってのメリットも説明しつつ、企業の参加を促す
- －大学のキャリアセンターとの連携（就職希望者への「見える化」。人材確保等、企業にもメリット）

- ・女性の活躍状況の「見える化」に向け、企業の女性活躍に関する指標等の公表に係る資本市場における企業の取組を促す方策について、例えば有価証券報告書や取引所のガイドライン、IR資料など公表方法の在り方を含め、2012年中に総合的な検討を行う【内閣府、金融庁、厚生労働省、経済産業省】

○政府を挙げて企業や団体に直接的に働きかけ（「女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦」【厚生労働省、経済産業省、内閣府、他関係省庁に協力を要請】

- ・2万社以上を目標に直接的な働きかけ等を行い、ポジティブ・アクション取組企業数1万社以上、情報開示企業数5,000社を目指す

○福利厚生ではなく、人材活用のための経営戦略としての視点で企業の取組みを促進